

9/10まで、募集中!

第17回掌編自分史作品募集テーマ「恋したわたし」

あなたにしか書けない

恋がある。

審査員に聞く「恋バナ自分史」のカギ

自分の人生を書きつづる「自分史」。今までの経験を振り返って、文章にすることで、心の中が整理できたり、これからの前向きに生きるヒントが見つかったりします。

日本自分史センターでは、9月10日まで、「恋」にまつわる自分史を募集中。胸がときめく、心惹かれる。それは、1000人100通りの情感です。あなたもとっておきの恋バナを書いてみませんか？初めて自分史を書く人へ向けたヒントを、審査員の3人に聞きました。

なにを書くの？

私が書くなら、

こんな恋



審査員
芳賀倫子さん
(自分史センター相談員)

「ダンスダンスダンス！」

70歳を過ぎて、こんなにトキメクなんて、毎日が幸せである。週に2回のダンスは私を夢見心地にしてくれる。我々が学生だった頃は、ダンスパーティーが頻繁に開かれていた。切符もぎりや会場整備の手伝いをしながら、時にはダンスのパートナーを務めることもあった。会場は混み合っており、初心者でも、ついて踊れば下手さはあまり目立たなかったのだ。そうは言っても、きちんと習って堂々と踊りたいと、ずっと思い続けてきた。そして気がついたら70歳を超えていた……で、やっと念願を果たしたというわけである。

以来3年、足腰はしっかりしてきたし、何よりも曲に合わせて踊るのは大変に楽しい。28歳イケメン先生のリードで老いたる舞姫は今日もいく……。

「恋とは、何かに心惹かれ、熱くなってしまう想い。人だけでなく、食べ物や土地、ある瞬間……いろんなものへの恋があります。“恋なんてしてないわ”という方も、今までの人生の中で、夢中になったコトやモノがあれば、自分史の種になりますよ。ちなみに私は今、社交ダンスに恋しています！」

どうやって書くの？

「恋を書くための

3つのポイント」

1 読者を意識しよう
日記と違って、自分史は人に読んでもらうもの。せっかく書くなら、読者にとって、おもしろくて、ためになる文章を目指しましょう。自分が大好きなものについて書くときは、自分だけが知っている魅力や豆知識を書くと、おもしろく読んでもらえますよ。

2 個人情報には気をつけて
相手のいる恋のエピソードを書くときは、プライバシーに注意しましょう。よかれと思って書いたのに、相手は嫌だった……ということもあります。個人が特定できそうなときは、内容に影響を与えない範囲で、地名などの設定を少し変えても大丈夫です。本名を書くなら、本人に必ず許可を取って。

3 失恋は、いい自分史になる
人間は、成功した話より、失敗した話のほうが好きなんです(笑)。なぜなら、失敗談からは学ぶことが多いから。もちろん成就した恋の話もいけれど、悲しかった失恋の話も、その経験をバネに自分がどう成長したのかまで掘り下げると、とてもいい自分史になります。

なんで書くの？

「恋を

言葉に残す理由」



ゲスト審査員
鈴掛真さん
(歌人)

君の名を上手くきれいな発音で

ずっと言えずにいたような日々

大学生だった十二年前、同性の友人への片思いを、五七五七七の短歌に込めて書き留めました。男性でありながら男性に恋することを、周囲に理解してもらおうとは簡単じゃない。まだ成熟していない青春期では、自身でそれを受け入れるにも長い時間が必要でした。しかし、言葉に残すことで、荒々しい感情もひとつの作品となります。行きどころのない恋心を自身で整理でき、共感してくれる人だって見つかるかもしれない。恋の記憶を書き留めるという行為は、ただ物事を覚えておくためだけではない、特別な意味を持っていると思うのです。

僕は短歌で、みなさんは自分史で。ぜひ恋心を言葉に込めて表現してみてください。素晴らしい作品に出合えるのを楽しみにしています。

あの俵万智さんも推薦!
鈴掛真さんの第一歌集、
好評発売中!

「愛を歌え」
©鈴掛真/青土社



スタッフ=北澤圭

掌編とは、「手のひらにのるような短い作品」のこと。「掌編自分史全国公募」では、毎年異なるテーマで短編の自分史を募集し、優秀作品を1冊の本にまとめて発行しています。今年から原稿用紙一枚分(400字)から応募できるようになりました。自分史に初挑戦の若い世代のご応募もお待ちしております!

優秀作品は作品集に掲載!
掲載者には1冊プレゼント!

日本自分史センターpresents
第17回掌編自分史
作品募集「恋したわたし」
応募締め切り2019/9/10
※詳しくはHPをご覧ください。